

令和6年度地域創生総合支援事業(サポート事業) 執行結果報告書(過疎・中山間地域活性化枠・集落等活性化事業)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針			事業名	事業主体 (市町村)	事業区分 (ハード／ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所 (市町村及び場所)	備考
		重点		個別 テーマ									
		人口減少 対策	過疎中										
(県北地方振興局)													
1	新規		○		多様な価値を育む棚田と都市をつなぐ交流プロジェクト	布沢集落	ソフト・ハード	3,952	3,110	「国のつなぐ棚田遺産」に認定された布沢の棚田を活用し、地元の小学校や大学等と連携して、生き物観察会や収穫祭等のイベントを開催し、若い世代に対し棚田の多様性や魅力の発信に取り組んだ。 ①生き物観察会・ホタル観察会(7/6 90名参加) ②布沢棚田の芸術祭(10/26,27 290名参加) ③布沢ブックレット作成(500部) ④広場の整備(トイレ設置)	R6.4.1～R7.3.28	二本松市 布沢集落	
2	新規		○		大波DIYプロジェクト	大波会	ソフト	3,542	2,827	地域住民等が自らの手で交流拠点の整備に取り組み、今後の地域活動の基盤が創出された。 また、地域と大学生が交流する機会を設け、住民が地域の魅力を再発見することにつながった。 ①地域交流拠点coreba(コレバ)の整備 ②先進事例視察(宮城県丸森町、福島県いわき市、山形県鶴岡市) ③まゆ団子・干し柿作りによる郷土の味の伝承	R6.4.1～R7.3.31	福島市 大波地区	
3	新規		○	人づくり	住みよい石田づくりプロジェクト	石田ふるさと振興会	ソフト	813	650	石田マルシェを計3回開催するとともにホームページの整備等により、以降の継続開催基盤を整え、地域の農産物等の魅力を発信し、関係人口の拡大に取り組んだ。 また、閉校となった地元の石田小学校を活用してイベントを開催することで、地元への愛着を醸成に取り組んだ。 ①石田マルシェの開催(8/11,9/22,10/27 延べ650名参加) ②ありがとう石田小学校の開催(8/11 300名参加)	R6.4.1～R7.1.31	伊達市 石田地区	
4	新規		○	人づくり	過疎地域月館ピンチをチャンスに!事業	ツキラボ	ソフト	1,711	1,368	大学生と連携した地域活動や地域の活性化検討会を実施するとともに、マルシェイベントの継続的な開催を通し、地域のファンづくりと次世代の人材育成と生業の継続に取り組んだ。 ①つきだてマルシェの開催(9/1,2/23 それぞれ2,000名、2,500名来場) ②学生による地域活動支援(農業支援等) ③地域活性化検討会	R6.4.1～R7.3.21	伊達市 (旧月館町)	
5	継続2		○		屋敷道(フットパス)の再生、里山資源の再考(再興)による地域活性化事業	北戸沢保全会	ソフト	517	413	大学生と協働し整備したフットパス(公共の散歩道)周辺において、耕作放棄地の再生や里山資源の活用(堆肥づくり)に取り組み、地域資源の利活用を通じた交流の促進と、地域における里山資源の活用機運の醸成につなげた。 ①フットパス周辺の耕作放棄地再生に係る作物試験栽培(4～1月 14回延べ30人参加) ②里山資源の活用(堆肥づくり 2/8～10 延べ30名) ③地域間交流の実施 放棄地の再生:6/30 23名、 地域住民からの聞きとり:11/16,12/1 計17名、 地域住民との交流会 :12/1,2/24 計63名)	R6.4.1～R7.3.31	二本松市 戸沢地区	大学生事業 (R4～R6年度)
累計					(県北地方振興局) 5件			10,535	8,368				